

Oracle® VM

クイック・スタート・ガイド

リリース 2.1

2007 年 11 月

このドキュメントは、Oracle VM の使用開始を目的としており、以下のプロセスについて概要レベルで説明します。

1. [Oracle VMの概要](#)
2. [前提条件](#)
3. [Oracle VMのダウンロード](#)
4. [Oracle VM Serverのインストール](#)
5. [Oracle VM Managerのインストール](#)
6. [Oracle VM ManagerへのOracle VM Serverの追加](#)
7. [仮想マシンの作成](#)

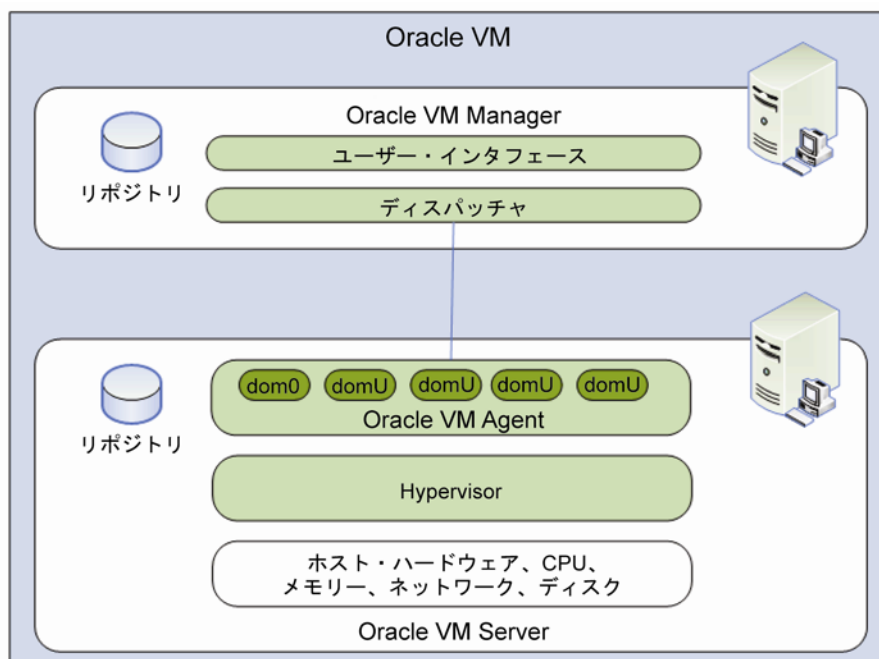
1. Oracle VM の概要

Oracle VM は、仮想化テクノロジーの利点をよりよく活用するための環境を完備したプラットフォームです。Oracle VM を利用すると、サポートされた仮想化環境内にオペレーティング・システムとアプリケーション・ソフトウェアを配置することができます。Oracle VM のコンポーネントは、次のとおりです。

- **Oracle VM Manager** : Oracle VM Serverを管理するためのユーザー・インタフェースを提供します。このインタフェースは、標準ADF (Application Development Framework) Webアプリケーションです。インストール・メディアまたは仮想マシン・テンプレートを使用した仮想マシンの作成から、仮想マシンの削除、電源オフ、アップロード、配置、およびライブ移行までを含む、ライフ・サイクル管理を行います。また、ISO ファイル、仮想マシン・テンプレート、共有可能なハード・ディスクなどのリソースを管理します。
- **Oracle VM Server** : 自己完結型の仮想化環境であり、仮想マシンを実行するための軽量でセキュアなサーバー・ベース・プラットフォームを提供します。Oracle VM Server は基盤となる Xen hypervisor テクノロジーの更新版に基づいており、Oracle VM Agent を含みます。
- **Oracle VM Agent** : Oracle VM Server とともにインストールされ、Oracle VM Manager と通信して仮想マシンを管理します。

図 1 の"Oracle VMアーキテクチャ"では、Oracle VMのコンポーネントを示しています。

図1 Oracle VM アーキテクチャ



2. 前提条件

Oracle VM をインストールするには、静的 IP アドレスを持つ 2 台のコンピュータが必要です。

- Oracle VM Server をインストールするためのクリーンなコンピュータ 1 台。
- Oracle VM Manager をインストールするためのコンピュータ 1 台。次のいずれかのオペレーティング・システムをインストールしていること。
 - Oracle Enterprise Linux Release 4 Update 5、またはそれ以上
 - Red Hat Enterprise Linux Release 4、またはそれ以上

ハードウェア要件の詳細については、『Oracle VM Server リリース・ノート』および『Oracle VM Manager リリース・ノート』を参照してください。

3. Oracle VM のダウンロード

Oracle VM のソフトウェア CD を持っていない場合は、次の Web サイトからダウンロードします。

<http://www.oracle.com/virtualization>

次の 2 つの ISO ファイルをダウンロードしてください。

- Oracle VM Server
- Oracle VM Manager

Oracle VM Server の ISO ファイルからブータブル CD を作成します。

Oracle VM Manager の ISO ファイルから CD を作成します。

4. Oracle VM Server のインストール

Oracle VM Server をインストールすると、コンピュータ上にインストールされたオペレーティング・システムとデータは削除されます。Oracle VM Server をインストールするには、以下の手順に従います。

1. Oracle VM Server CD を使用して、Oracle VM Server をインストールするコンピュータを起動します。
2. ブート・プロンプトで、[Enter]を押します。
3. プロンプトに従って、Oracle VM Server をインストールします。
4. インストール時に入力したパスワードを使用し、root ユーザーとして Oracle VM Server にログインします。

Oracle VM Server のインストールについて詳しくは、『Oracle VM Server インストール・ガイド』を参照してください。

5. Oracle VM Manager のインストール

Oracle VM Manager をインストールするには、以下の手順に従います。

1. Oracle VM Manager をインストールするコンピュータのオペレーティング・システムを起動します。
2. Oracle VM Manager CD を挿入し、マウントします。
3. ルートで次の Oracle VM Manager インストール・スクリプトを開始します。

```
sh runInstaller.sh
```

4. プロンプトに従って、Oracle VM Manager をインストールします。

Oracle VM Manager のインストールについて詳しくは、『Oracle VM Manager インストール・ガイド』を参照してください。

6. Oracle VM Manager への Oracle VM Server の追加

Oracle VM Manager を使用して、Oracle VM Server 上の仮想マシンの作成と管理を行うことができます。Oracle VM Manager を使用して仮想マシンを作成するには、サーバー・プール・マスター、ユーティリティ・サーバー、および仮想マシン・サーバーを含むサーバー・プールを最初にセットアップする必要があります。実行するには、以下の手順に従います。

1. Web ブラウザを開き、Oracle VM Manager の Web インタフェースにログインします。管理者のデフォルト・ユーザー名 **admin** と、パスワード **oracle** を使用します。URL は次のとおりです。

```
http://hostname:8888/OVS
```

hostname には、Oracle VM Manager のホスト・コンピュータ名または IP アドレスを指定します。

警告： オラクルは、管理者アカウントのデフォルト・パスワードをすぐに変更することを推奨しています。

2. サーバー・プールを作成します。
3. サーバー・プールへ Oracle VM Server を追加します。Oracle VM Server がサーバー・プール・マスター、ユーティリティ・サーバー、仮想マシン・サーバーのいずれとして使用されるかを選択します（複数可）。
4. 任意の既存仮想マシンを、仮想マシン・テンプレートとしてアップロードします。

5. 任意のオペレーティング・システムの ISO ファイルを、インストール・メディアとしてアップロードします。

詳しくは、『*Oracle VM Manager ユーザー・ガイド*』を参照してください。

7. 仮想マシンの作成

準仮想化ゲストまたはハードウェア仮想化ゲストとして、仮想マシンを作成します。Oracle VM Server のコマンドライン・ツールである `virt-install`、または Oracle VM Manager を使用して、仮想マシンを作成します。Oracle VM Manager を使用して仮想マシンを作成する方法は、以下のとおり多数あります。

- 仮想マシン・テンプレートの使用
- インストール・メディアの使用
- 仮想マシンのインポート

詳しくは、『*Oracle VM Server ユーザー・ガイド*』または『*Oracle VM Manager ユーザー・ガイド*』を参照してください。

8. 関連資料

さらに詳しい情報については、Oracle VM Release 2.1 ドキュメント・セットの中から、以下のドキュメントを参照してください。

- 『*Oracle VM Server リリース・ノート*』
- 『*Oracle VM Server インストール・ガイド*』
- 『*Oracle VM Server ユーザー・ガイド*』
- 『*Oracle VM Manager リリース・ノート*』
- 『*Oracle VM Manager インストール・ガイド*』
- 『*Oracle VM Manager ユーザー・ガイド*』

9. ドキュメント・アクセシビリティ

オラクルは、製品、サービス、およびサポート・ドキュメントを障害のあるお客様にも簡単に使用していただくことを目標にしています。当社のドキュメントには、ユーザーに支援技術に関する情報を提供する機能が含まれています。このドキュメントは、HTML形式で提供されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスするためのマークアップが含まれています。アクセシビリティの標準は進化し続けており、オラクルは当社のドキュメントをすべてのお客様が利用できるように、市場をリードする他のテクノロジー・ベンダーと積極的に協力して、技術的な問題に対処しています。詳しくは、Oracle Accessibility Program のWebサイト<http://www.oracle.com/accessibility/>を参照してください。

ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティ

スクリーン・リーダーは、ドキュメント内のサンプル・コードを常に正しく読み取るとは限りません。コード表記規則では、右中括弧は別の空の行へ記す必要があります。ただし、スクリーン・リーダーでは、括弧または中括弧のみを含むテキスト行を読み取らない場合があります。

ドキュメント内の外部 Web サイトへのリンクのアクセシビリティ

このドキュメントには、オラクルが所有または管理しない他の企業または組織の Web サイトへのリンクが含まれる場合があります。オラクルは、それらの Web サイトのアクセシビリティに関する評価や言及は行いません。

Oracle サポート・サービスへの TTY アクセス

オラクルは、アメリカ国内では年中無休で 24 時間、Oracle サポート・サービスへのテキスト電話 (TTY) アクセスを提供しています。TTY サポートへは、800-446-2398 へお電話ください。米国外からは、+1-407-458-2479 へお電話ください。

Oracle VM クイック・スタート・ガイド、リリース 2.1

Copyright © 2007, Oracle. All rights reserved.

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

本文書に記載された内容は、予告なく変更されることがあります。本文書内に問題が見つかった場合は、書面にて報告してください。オラクル社およびその関連会社は、本文書に一切間違いがないことを保証するものではありません。これらのプログラムのライセンス契約において明確に許諾されている場合を除いて、いかなる形式、手段（電子的または機械的）、目的のためにも、これらのプログラムを複製または転用することはできません。

このプログラムがアメリカ政府またはプログラムのライセンスを受け、使用するアメリカ政府の代理人に提供される場合は、以下の注意事項を適用します。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることはライセンスの責任となります。万が一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、(a) 第三者の製品およびサービスの品質、(b) 購入製品またはサービスに関連する第三者との契約のいかなる条項の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しても責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

